

糸島市中學生作文報告書

1. 概要

第2次糸島市長期総合計画を策定するため、中学校で実施している“いとしま学”の学びを基礎として、10年後、20年後の未来を担う生徒一人ひとりに、「私が考えるいとしまの未来」をテーマに作文を書いていただきました。

市内全中学校から814作品が提出され、その中から特に優秀な17作品を選出しています。

2. 中学生の考える糸島市の未来

中学生が書いた糸島市の未来に関する作文の内容をまとめました。

2.1 単語に関して

どのような単語が使われたのか、特徴的な単語を以下の表にまとめました。

名詞	出現数	サ変名詞	出現数	形容動詞	出現数	動詞	出現数
自然	20	観光	7	豊か	13	思う	50
未来	14	移住	5	可能	4	考える	18
外国	9	飲食	5	賑やか	3	増える	13
方々	6	交流	4	必要	3	住む	10
環境	5	提案	3	グローバル	2	使う	8
社会	5	発信	3	簡単	2	知る	7
レストラン	4	発展	3	多様	2	来る	6
学校	4	ショッピング	2	大事	2	行く	4
機会	4	レンタル	2	大切	2	作る	4
技術	4	安心	2	便利	2	暮らす	4
高齢	4	会話	2			学ぶ	3
子ども	4	改善	2			感じる	3
子供	4	協力	2			集まる	3
障害	4	注目	2			触れ合う	3
場所	4	利用	2			生かす	3
情報	4						
食材	4						
大人	4						
地域	4						
都市	4						
病院	4						

名詞をみると、「自然」、「未来」、「外国」、「レストラン」、「学校」、「技術」、「高齢」、「障害」、「食材」、「地域」といった言葉が並んでいます。サ変名詞をみると、「観光」、「移住」、「飲食」、「交流」、「発信」、「安心」、「協力」といった言葉が並んでいます。形容動詞をみると「豊か」、「グローバル」という言葉があります。動詞をみると、作文でよく使われる「思う」、「考える」の次に多くなっているのは「増える」、「住む」、「使う」という単語となっています。

単語の出現数からみても、やはり糸島を自然豊かな地域と考え、「レストラン」「食材」「飲食」という単語からわかるように、「食」に係ることに関心があるようです。また、「都市」、「グローバル」という言葉から、グローバル化するなかでの糸島に関心をもっているようです。

2.2 内容について

作文をその内容によって分類してみました。

こうあって欲しい糸島

糸島の将来について、こうあって欲しいという内容のものがあります。具体的には、大きな病院を建てて安心なまちにしたい、商業が盛んなまちになって欲しい、多様な自然環境を維持して欲しい、市民が子育てに関われるようなまちにしたい、という意見がありました。

自然の活用と都市文化の共存

次に、糸島の自然の活用と都市文化との共存を考えている生徒がいます。具体的には、休耕地を「農地レンタル」することで持続可能なまちにしていくという提案であったり、豊かな自然を世界に発信していく提案であったり、「糸島でしかできない自然と都市の融合がより誇れる糸島」を考えているようです。また、テクノロジーを活用し、自然と共存できる糸島を望んでいる生徒もいました。

交流できるまち

次に、いろいろな人たちが交流できるまちとなって欲しいと思っている生徒がいます。具体的には、高齢者との交流やこれから増えるであろう外国人との交流ができるまちとなって欲しいという内容となっています。また、そのために、レストランのメニューに外国語を付けることを提案しています。

3 . 作文本文

中 学 校	学 年	タイトル	本文
前原	3	人々の安心と安全の為に	<p>私が考える糸島の未来は、全ての人々が安心して安全に暮らせる未来です。現在の糸島は自然豊かで暮らしやすいと言われ知名度が上がってきています。しかし、その反面大きな病院が近くになく、医療難民と言われているのも、また事実です。</p> <p>これらの事をふまえて、私たちは糸島に第三次救急の病院を設けることを提案します。市に大きな病院を設けることの利点は3つあります。1つめは、大きな病院に人が集まることで周辺地域の発展が可能な点です。2つめは大規模な震災が起きた場合には頼りになる避難所にできるという点です。3つめは、糸島の自然の中で生活する事は患者にとっても良いという点です。これは糸島にしかできません。問題点もあり、場所的に少し不便ですが、ドクターヘリの導入で改善が可能かもしれません。こうして、私たちが大人になっても住み続けられるような安心できる糸島になってほしいです。</p>
前原	3	いとしま学泊	<p>私は、糸島市の小中学校についてエアコンをもっと有効に、糸島市のためになることに使えないか考えてみました。</p> <p>糸島にはたくさんの観光客が来ますが、ほとんどは日帰りの人たちです。泊まってくれたらもっとたくさんの糸島の名産品を食べたり買ったりしてくれて、糸島の人々の収入が増えるし、糸島に働く場所が増えると思いますが、糸島には大きなホテルはありません。</p> <p>そこで、夏休みはエアコンがついて快適に過ごせるようになった学校に観光客に泊まってもらってはと提案します。糸島の学校の周りには多くの観光地があります。観光客も便利だと喜んでくれると思います。調理室で糸島の食材を使ったおいしいものをたくさん作るのはいかがでしょうか。食器は学校のものを使えば新しく買う必要はありません。</p> <p>今あるものを使いみんなが幸せになるにはどうしたらいいのか、これからも私は糸島のためにそれを考えていこうと思います。</p>

中学校	学年	タイトル	本文
前原	2	持続可能な町にするために	<p>僕たちが住んでいる糸島は、豊かな自然に恵まれ、それを求めてたくさんの人々が訪れる町です。また、たくさんの農作物が育てられている町でもあります。しかし、使っていない農地がある、などの問題があります。</p> <p>このような問題を解決していくために僕は「農地をレンタルする」ということを考えました。このレンタルで得た収入は、市のお金として、市民のために使うようにすればいいと思います。これを行うことで、他県から移住してくる人も増えて、糸島が活性化されると思います。これをすれば、持続可能な町になると思います。</p> <p>今、僕たちにできることは限られていると思うけど、地域でとれたものを食べる、というような、小さなことからしていきたいと思います。</p>
前原東	3	私の理想の糸島	<p>私が考える理想の糸島の一つ目は、ずっと「自然豊かな糸島」であることです。そのためには、私も含め、多くの人が積極的に海や川などのゴミ収集のボランティアに参加すると良いと思います。また、自然の恵みを感じられるような農業や漁業の体験の場を作ると良いと思います。そうすることで、地域の方との繋がりもできるというメリットもあります。</p> <p>二つ目は、「観光客でにぎわう糸島」です。そのために、花火大会やお祭りなどのイベントを増やすと良いと思います。そして、そこで、糸島の名産品を販売したり、糸島のことを知ってもらえるような場をつくりたいと宣伝していけば、たくさんの方が糸島に来て、糸島の魅力を感じてくれると思います。</p>
前原東	3	「糸島が好き」	<p>私は、糸島歴7年目です。この糸島に引っ越してきてから7年になります。ですが、私は糸島のことをあまり知りません。知っているとしても、「自然が豊か」「食べ物が美味しい」など簡単なものばかりです。きっと、私と同じような人は大勢いると思います。たとえば生まれが糸島だとしても、関心がなければ何も知らないはずで、私は、自分のような人たちが糸島のことをもっと知り、いろんな人から愛される糸島にしたいです。誰もが「糸島が好き」と思っているような未来は、とても素敵だと思います。ですが、それを目指すためには糸島をもっと知る必要があります。だから、まずは中学生の私たちが沢山学んで発信し、多くの人に輪を広げていきたいと思っています。いろんな人たちから愛され、誇りに思える未来の糸島。想像するだけで、ワクワクが止まりません。</p>

中学校	学年	タイトル	本文
前原東	3	未来の糸島はどうあるべきか	<p>最近、私の家の周りに次々に家が建てられている。飲食店も増え、人口も年々増加している。これらの要因として、都会である福岡市がすぐ近くにあることが考えられるが、私は「情報を世界規模で発信できる」ようになったことが、一番のポイントだと思う。糸島の魅力を全国に、世界に発信していることで糸島の人気や知名度も上がっていると思う。</p> <p>だから、今の工夫によっては、福岡市や北九州市を超えるぐらいの存在になれると思う。豊かな海もあり、のどかな町なみもあり、駅や高速道路があるなど、交通の便もよい。現代社会の流行やニーズに対応していけば、住みやすい町である糸島は大きく発展すると思う。しかし、大きなアミューズメントパークや高層ビルは、この糸島には合わないだろう。となると、やはり糸島はこの豊かな自然を武器に、大都会と闘っていくべきだと思う。</p>
前原東	3	糸島にしかできない未来	<p>私は以前、友達と「糸島で遊べる場所が少ない」と話していた。たくさん良いところはあるのになぜ、糸島以外であそぶのか。それは、現代が情報化になり、より便利なものを選ぶようになったからだ。そうすると大きなショッピングモールや、都市に人は集まるようになるのだ。だからといって、高層ビルやショッピングモールばかりをつくるわけにはいかない。もちろん、それで人は集まるかもしれないが、糸島の豊かな緑、自然が壊れ、糸島の良さが消えてしまう。では、どうすれば良いのか。私は、自然を生かした都市化が大切だと思う。自然と都市化が互いに打ち消しあうのではなく生かしあう。これは、豊かな自然に恵まれた糸島だからこそできることである。糸島でしかできない自然と都市の融合がより誇れる糸島をつくと私は考える。</p>
前原西	2	私が考えるいとしの未来 糸島市のこれから	<p>私達の住む糸島は、地元の食材を大事に育て、消費していくという食文化がある。</p> <p>糸島はとても自然が豊かで、美味しい食材もたくさん採れる。最近ではこれを生かして市を盛り上げようとする取り組みがある。そうすることにより、地元住民だけでなく、市外の人々、更には外国人観光客などつながりを深めていける。人と人とのつながりこそが糸島市に活気を与えてくれて、集客へとつながっていく。その結果、残念ながら過疎化が進行している糸島市が他県などから注目されて糸島への移住を考える人も増えてくるのではないだろうか。</p> <p>糸島の豊かな自然や、美味しい食材を広めていくこと。これが市の活性化への第一歩である。食文化を巧みに利用していき、明るく楽しくなっていく。これこそが、私の考える糸島の未来である。</p>

中学校	学年	タイトル	本文
前原西	2	私の望む糸島のミライ	<p>私が望む糸島の未来。それは、「バリアフリーな社会」の実現です。この社会は、私たち健常者が暮らすには何不自由ありません。しかし、障害をもった方々にとっては暮らしやすい社会でしょうか。私たちが普段、何気なく通っている小さな段差、青になったら渡る横断歩道。段差を車椅子の方が簡単に登れるでしょうか。青になった信号は、視覚障害の方が気付くことができるでしょうか。</p> <p>昨年、学校に車いすバスケの選手が来てくださいました。その時にこう仰ってました。「障害はその人にあるのではない、環境にあるのだ」と。そんな環境の障害が少しずつでもなくなっていけば、糸島という街に住む全ての人々にとって暮らしやすい街になると思います。これが、私の望む糸島のミライの姿です。</p>
前原西		糸島の未来	<p>僕は、将来の糸島がこうあって欲しいということがあります。</p> <p>一つ目は、今よりもっと人が沢山糸島に住むことです。ここ数年、糸島は全国から注目され、移住する人が増えているとテレビで見たことがあります。実際に転入してくる人がいたり、増えているのを実感します。だからこのまま定住する人が増えれば、人の繋がりが濃くなり、賑やかな街になると思います。</p> <p>二つ目は、商業がもっと盛んになって欲しいということです。理由があります。僕は商店街を通ることがあるのですが、最近はシャッターが目立つように感じます。人もあまりいないことが多いと思います。ですから、もっと活気のある、賑やかな商店街であって欲しいです。このように、僕は糸島市が賑やかで活気のある街であって欲しいと願っています。</p>
前原西	2	糸島の未来	<p>糸島には多様な環境があり、多様な生き物が生息しています。見て、触れて、楽しみながら、個々の生き物や環境の関係性を学ぶことができます。糸島の森林面積は約1万 ha で市総面積の45%を占めています。その中で杉・ヒノキを今、しっかりと間伐すれば、10年20年先、林業を営むことが可能になります。そのためには、今ある木材資源をしっかりと活用し、供給していく仕組みと体制を整えることが必要だと思いました。また、大人も子どもも、まちのことや政治に楽しみながら関わっています。まちづくりは、そこに住む人たちの想いや声やアイデアから始まります。みんなの声がまちづくりに反映されたら、政治がもっと楽しくなると思います。豊かな海や美しい砂浜も糸島の魅力のひとつです。これをずっと先の世代でも享受されるように、糸島の自然環境を大事にしていきたいです。</p>

中学校	学年	タイトル	本文
二丈	3	高齢者の方と交流	<p>私が考えるいとし島の未来は、高齢者の人たちと交流できるようなカフェをすることです。なぜなら、今高齢化が進んでいて、一日中家に一人でお年寄りもいると思うから少しの時間でも、楽しく過ごせるように、たくさんの人と交流をもてるようなカフェなら気がるに行けると思うからです。</p> <p>また、カフェなら、大人、大学生はもちろん中学生や高校生、お年寄り、どんな人でも利用しやすいと思い、月に一回や休日に、小さなイベントがあるとより楽しくなると思うからです。</p> <p>例えば、手作りフェアなど小さなおみせをひらいたりすると、たくさんの人と交流でき、会話ははずみ仲もより深まると思うからです。</p> <p>このように、高齢者の方を中心に交流することで、何かあった時には、お互いに助けあえるようになると思うからです。</p>
二丈	3	外国人の方々がたくさん来るために	<p>私はレストランや飲食店のメニューに、外国語をつけるといいと思います。なぜなら今の糸島は外国人をあまり見かけません。私は外国人の方々に来てほしいです。そのために一度糸島に来ていただいた外国人の方々にもう一度行きたいと思ってもらえるようなところになりたいです。</p> <p>私は外国人の方々が一番に行くと思う場所としてレストランや飲食店をあげました。レストランや飲食店のメニューには外国語があまり書かれていないので外国人の方々がきていただいてもよく分からないと思います。よりたくさんの外国人の方々に糸島にもう一度行きたいと思ってもらうためにも、私はレストランや飲食店のメニューに中国語や英語、韓国語などふやして行ってほしいと思います。改善することによって、観光地として糸島が発展していくと思います。</p>
福吉	3	いとしまと福岡市	<p>私が考える、糸島の未来は情報化の進む糸島です。なぜかという、糸島は福岡市に近いのに、まったく福岡市とは違い、自然豊かで、農業や漁業などの仕事をしている人も多くいてすごくいい町と思うが、その一方で、糸島の一部地域では、まだ、インターネットなどをしたくても、できない人や、インターネットなどに興味がない人がいます。私はこのような人にもっと最近のコンピューターの技術を使ってほしいと思っています。たとえば、農業をしている時に、ロボットが手伝ったり、山奥に住む高齢者を支えるロボットなど、今、糸島が困っている問題点をこのような最先端技術を使うと、いいと私は考えました。また、その技術をそのような技術が盛んな福岡市と協力するような糸島を作ってほしいです。</p>

中学校	学年	タイトル	本文
福吉	3	未来の糸島市	<p>現在の糸島市は、市外だけでなく、海外からの移住者の方も増えていると思います。それによって、町や市の様子を知るために、会話をする機会も増えると考えられます。そうすることによって、たくさんの情報が飛び交い、市全体を巻き込んだ一種の防犯活動につながると思います。また、海外の方がいるということは英語で話す機会も今より少し多くなると思います。その結果、英語を聞くことが多くなり、グローバルな社会へ近づくとと思います。</p> <p>以上のことより、未来の糸島市は、大勢の方がコミュニケーションを取り合い、防犯面でもよりよくなり、今よりもっとグローバルな市になると思います。</p>
志摩	3	私が考える未来の糸島	<p>私が考える糸島の未来。それは、今糸島にある豊かな自然を残しつつ、子どもから大人までいろいろな人が住みやすいような設備があるにぎやかで活気づいたまちです。</p> <p>糸島の未来をより良くするために、私が提案するのは、市民が子育てに関わる場をもうけることです。例えば小さな子供達とお年寄りの方がふれ合える場所をつくります。そして子供達がコミュニケーションを学ぶことができれば、そこに子供を行かせたいという親が増え、少しずつまち全体がにぎわってくると思います。また、子供達が増えることによって活気づくとします。だから、糸島のより良い未来を築くためにも、市民全体が協力することが大切だと考えました。</p>
志摩	3	未来の糸島がより良くなるために	<p>私が考える糸島の未来は、住んでいる人が気ままに自然に触れ合い、楽しめるような市です。</p> <p>なぜなら、今の糸島市には他県からの移住者も多く、子連れの人遊びに来ている姿も最近良く見かけます。また、子どもでもあまり自然に触れ合う機会が、少なくなっていると思ったからです。</p> <p>そこで、私が考えたのが公園を増やし、特殊なアスレチックをつくるというものです。</p> <p>具体的には、公園の遊具が充電器とつながっており運動することにより、電気がたまるというシステムです。その電気を街灯に使うことで電気代の減少になり一石二鳥です。</p> <p>子どもと楽しく、なおかつ自然と触れ合う機会も増えるというものです。</p> <p>ぜひ、私の考える未来の糸島に近づけるようにお願いします。</p>